

「切除不能小腸癌に対する大腸癌に準じた化学療法(ベバシズマブ併用含む)」へのご協力をお願い

代表者名 伊藤 雅典 所属：外科 職名：医長

1. 目的

切除不能小腸癌は稀な疾患で化学療法として効果が報告され[1,2]、国内で保険承認を受けた薬剤はオキサリプラチンのみである。しかしながらレトロスペクティブ研究から他の化学療法の有効性も示唆されており[3-5]、フッ化ピリピジン系薬剤とオキサリプラチンの併用が最も効果的なレジメとされるが近年ではベバシズマブを併用した大腸癌に準じた化学療法の効果が期待されている[6, 7]。また当院でもこれまでに小腸癌に対してベバシズマブ併用療法含め大腸癌レジメンに準じての治療経験がある（内科症例）。

2. 対象と方法

切除不能小腸癌に対して **first-line** としてオキサリプラチンベースの化学療法（**FOLFOX** もしくは **XELOX**、**SOX** 療法）を行なった後、次治療の標準レジメンはなく、**Bev** を併用しての **FOLFOX** (**XELOX**) もしくは **FOLFIRI** を **2nd line** として施行。病変の増大で投与継続困難となった場合あるいは有害事象等で継続投与不能となった場合には大腸癌に準じて他のレジメンを選択する。

3. 研究期間

倫理委員会承認日 ～ 当院 患者本人が治療可能である限り

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔
連絡先：電話 0868-21-8111（担当：外科 伊藤 雅典）